

# 大きな成果収めた「JATAの森」活動 秩父エリアのさらなる観光振興に期待

JATAは今年4月、埼玉県長瀨町と「森林(もり)づくり看板設置及び森の見守り協定」を締結しました。2009年から環境保全活動の一環として、長瀨町の里山である宝登山を色彩豊かな森にすることを目指して、会員会社とともに植樹や下草刈りを行う森づくり活動として実施されてきた「JATAの森」は、8年間にわたって延べ1000人以上が参加し、昨年7月に行われた下草刈りで終了しましたが、今後は協定に基づいて植樹した木々の成長を見守っていくこととなります。長瀨町の大澤タキ江町長とJATA社会貢献委員会の黒川恵副委員長に、「JATAの森」や長瀨観光の今後などについて語り合っていました。

## 訪日外国人旅行者誘致にも 取り組み

**黒川** 2009年に宝登山での植樹活動を開始するために視察で訪問した際、30年以上も前に宝登山へ初めて来た時と同様に、山が深く暗い森という印象が変わって

いかなかったことに驚いたものです。今年4月に改めて宝登山を訪れ、植樹した木々も太く成長し、カエデやコナラなどは立派に自立して、明るい森に変わっているのを確認でき、大変に嬉しく思いました。私の会社では、登山やトレッキングなどの旅行商品をつくっており、かつては里山や低山はツアーの対象にはなりにくかったのですが、今は

健脚のシルバー層などを中心に多くの旅行者が山歩きを楽しむようになってきました。JATAと長瀨町で「見守り協定」も結ばれましたので、町としても是非、木々の育成にも力を入れていただければと期待させていただいています。

**大澤** 2008年にスタートした植樹活動は、それまで暗い山だった宝登山を観光地である長瀨に相応しい山に変えていくことを目指したもので、JATAをはじめ9団体による協力をいただいて、春夏秋冬の年間を通じて楽しんでいただけただけの山になってきました。心から感謝しています。かつては、観光地と言えば長瀨しかなかった埼玉県も、川越に年間600万人が訪れるよう

にもなるなど、観光面で大きく発展してきており、長瀨も新たな魅力を発掘発信していきたいと考えています。

**黒川** 植樹活動を開始した当時、多くの自治体が同様の取り組みを行っていましたが、年間300万人近くも訪れている関東有数の観光地である長瀨が特に熱心に取り組まれていることが印象的でした。自然のスケールが大きい長瀨は、首都圏の観光地として他とは異なる魅力を持っていますから、急増してきている訪日外国人旅行者も含めて、大きな可能性を持つのではないのでしょうか。東京近郊に位置するというアドバンテー

ジも踏まえ、もっとインバウンド市場でもアピールしていくべきだと思っています。  
**大澤** 埼玉県も訪日外国人旅行者の誘致には力を注いでおり、台湾からの教育旅行なども増えています。秩父地域では「ちちぶ定住自立圏構想」に基づいて、長瀨町と秩父市、横瀬町、皆野町、小鹿野町の1市4町が滞在型観光の推進と外国人観光客の増加という2つの協定を締結して、観光連携を進めています。1市4町で構成する秩父地域おもてなし観光公社が海外に向けて地域の観光魅力などを発信しており、外国からの教育旅行では、秩父地域全体にお願いしてホームステイでの受け入れも行う予定です。農業体験などもプログラムとして用意されていますが、外国人の子ども達にとつては、ラフティングや川下りなどが楽しめる長瀨が一番人気となっているようです。

**黒川** 三峯神社・秩父神社と並んで秩父三社の一社である宝登山神社は、2011年にミッシュラングリーンガイドジャパンで1つ星に選定されていますから、インバウンド市場で秩父地域をアピールするポイントとなることも期待されます。

**大澤** 東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、訪日外国人旅行も盛り上がりつつあることになると思いますが、東京から近いという地の利を生かして、秩父地域の皆さんと協力しながら内外から多くの旅行者に来ていただけるように地域観光を活性化していくことができ



大澤タキ江町長(右)と黒川恵副委員長



大澤町長「地域全体として観光振興に取り組み」

黒川 秩父地域にあって、秩父市は温泉地も多く滞在型の観光が定着していますが、長瀬町は通過型の観光地となっていますので、今後は、滞在型のプログラム開発や秩父市と長瀬町の組み合わせによる宿泊観光などにも取り組んでいただければと思います。

大澤 長瀬町には、萬福寺を起点に野上峠・奈良沢峠を經由し宝登山頂まで歩く「長瀬アルプス」と呼ばれるハイキングコースや、神回りを通って天狗山分岐で萬福寺から来たコースと合流し、宝登山山頂を目

## 旅行業界とともに宿泊観光の開発へ

ばと考えています。秩父地域おもてなし観光公社の本拠は西武秩父駅のある秩父市ですが、観光地としての歴史も長い長瀬は秩父地域での観光促進の取り組みには必ず関わらる形となっていますから、長瀬町として訪日外国人旅行者に注目していただけるような取り組みも強化していくつもりです。

黒川 JATAとしても、宿泊観光の拡大は国内旅行における大きなテーマとなっていますので、旅行業界としても知恵を絞ったり、長瀬町と一緒に工夫をしていく必要があると思います。秩父には様々な温泉地があり、温泉を運んでくるというやり方も考えられますし、色々な種類の温泉をミックスして「温泉カクテル」のような打ち出し方をするという手法もあるかもしれません

指す「神回りコース」などもあります。野上駅をスタートして、萬福寺〜長瀬アルプス〜宝登山頂〜宝登山ハイキング道〜長瀬駅というコースを歩くと、9キロほどの距離で約4時間の行程となり、着地型・体験型の滞在プログラムとして活用していただいていますので、町としてハイキングマップなども作成しています。ただ、地盤がしっかりしていないので、町には強い長瀬町なのですが、逆に岩盤が固すぎて温泉を掘れず、温泉地のないことは宿泊観光の開発にとって課題となります。



黒川副委員長「宿泊観光の開発へ旅行業界も工夫」

### 《「JATAの森」活動年表》



「JATAの森」の看板がある道沿いには綺麗なヤマツツジも

2009年10月	埼玉県長瀬町宝登山で「JATAの森」植樹祭を開催。約200人が参加
2009年11月	「JATAの森」植樹・間伐活動を実施。15人が参加
2010年06月	「JATAの森」下草刈りを実施。約100人が参加
2010年11月	「JATAの森」間伐作業を実施。16人が参加
2011年07月	「JATAの森」下草刈りを実施。約50人が参加
2011年11月	「JATAの森」間伐作業を実施。19人が参加
2012年07月	「JATAの森」下草刈りを実施。約50人が参加
2012年11月	「JATAの森」間伐作業を実施。18人が参加
2013年07月	「JATAの森」下草刈りを実施。約50人が参加
2013年11月	「JATAの森」間伐作業を実施。12人が参加
2014年06月	「JATAの森」下草刈りを実施。44人が参加
2016年07月	「JATAの森」下草刈りを実施。47人が参加
2017年04月	JATAと長瀬町が「森林づくり看板設置及び森の見守り協定」を締結

ん。また、ハイキングコースなどを組み合わせたロングトレイルが、登山界だけでなく、地域観光振興の面でも注目されてきています。例えば、北海道には、広大な酪農地帯と摩周湖をつなぐ「北根室ランチウェイ」というのがありますし、日本で一番長いものとしては、青森から福島まで三陸の海岸線も含めて700キロに及ぶ「みちのく潮風トレイル」もあります。この「みちのく潮風トレイル」は環境省の肝いりによるもので、「JATAの道」としての活動も行っています。長瀬の里山を含むロングトレイルを地域と協力して作り上げることができたら意義深いと思います。

大澤 新しい話題としては、来春までに長瀬町内に観光の酒蔵もオープンする予定です。オーナーは鹿兒島の方ですが、観光地としての長瀬に進出していただけたらということ、大いに期待しています。実際に日本

酒も造り、その製造過程を見てもらったり、お土産を販売したりするようですので、町としては雇用の確保にもつながるのではないかと歓迎しています。長瀬観光は100年以上も続いていきますから、町民の皆さんも旅行者を受け入れることの意味合いを十分に理解されていて、地域全体として観光振興に取り組み雰囲気も醸成されています。農協と観光協会によるタイアップを通じて、10年以上前から「蕎麦の町・長瀬」という魅力づくりにも取り組んでおり、蕎麦打ちの練習などもして町内のほとんどのお店が手打ちで蕎麦を作っているのです。美味しい蕎麦の魅力も知られるようになってきました。

黒川 秩父地域でも観光地として長い歴史を持つ長瀬が新たな魅力を加えながら、地域観光振興のリーダーとして発展していくことを期待しています。